

2025 年 4 月 7 日

京大天文台基金にご寄附頂いた皆様へ

京都大学理学研究科附属天文台
台長 横山央明

京大天文台基金への

ご寄附のお礼と 2023-2024 年活動のご報告

拝啓

日頃から京大天文台の運営にご協力を頂きまして誠にありがとうございます。

2014 年に創設しました天文台基金は皆様からの温かいご支援を賜り、この間にお寄せいただいたご厚志は、私ども天文台施設の維持・運営にとって大きな支えとなってきました。2023-2024 年の総額は、5,885 万円になり、その目的別内訳は次項にお示しする表の通りでした。皆様から頂いたご寄附は京大天文台基金として積み立て、寄附の目的に沿って各事業の支援に充てております。ここに皆さまのご理解とご協力に厚く御礼申し上げます。

京都大学理学研究科附属天文台は、100 年近い歴史を持つ花山天文台、太陽観測の第一線で活躍する飛騨天文台、2018 年に新しく設立され、アジア最大のせいめい望遠鏡を有する岡山天文台を運営しております。なかでも花山天文台は、最先端観測の役目を飛騨天文台と岡山天文台に引き継いだことから、その運営費の殆どを寄附金に頼らざるを得ないのが現状です。皆様のご寄附があることで、花山天文台は今でも大学の教育施設として天文学を志す学生達の育成に、また、市民に開かれた天文台として天文学の普及活動に活躍しています。

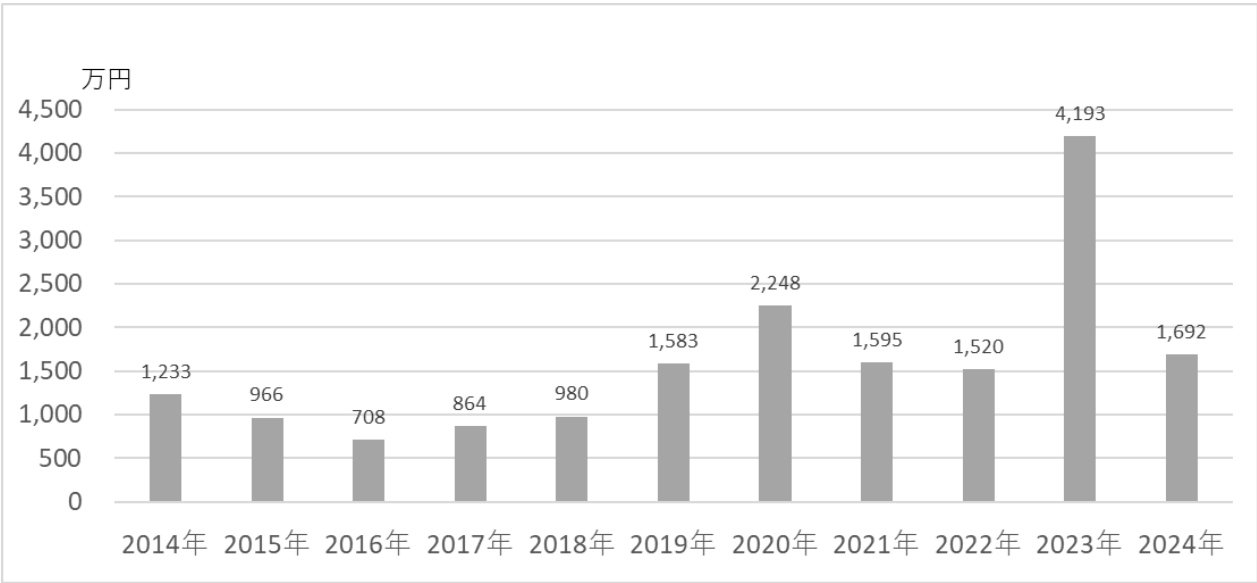
皆様からのご寄附は、私どもの天文学研究、そして教育・普及活動の大きな支えとなります。京都大学理学研究科附属天文台は、(1)先端天文学研究、(2)最新技術投入による観測装置開発、(3)内外研究コミュニティ・プロジェクトへの参加協力、(4)次世代研究者の教育や社会連携、を 4 つの柱として運営してまいりたいと考えています。このたびのご厚情をありがたく受け止め、これからもこれらの活動に努めてまいる所存です。

改めましてご理解とご協力に厚く御礼申し上げます。

敬具

天文台基金 2023, 2024 年の集計とこれまでの推移

	2023年	2024年	累計
寄附方法			
・天文台基金に直接	35,160,900	8,553,000	123,245,257
・京大基金経由	6,772,200	8,367,400	52,576,472
合計 [円]	41,933,100	16,920,400	175,821,729
	2023年	2024年	累計
目的別			
・岡山天文台	54,000	39,000	5,616,816
・飛騨天文台	111,000	60,000	8,358,761
・花山天文台等見学会	23,730,900	3,315,000	57,779,589
・国際共同プロジェクト	0	0	1,063,912
・一般寄附	18,037,200	13,506,400	103,002,651
合計 [円]	41,883,100	16,815,400	175,666,729



同封資料：

- ・附属天文台パンフレット（大型版—最新版：2024 年 7 月）
- ・花山天文台応援・喜多郎コンサート「10 周年記念 Kwasan Forever!」パンフレット
- ・京都花山天文台将来を考える会 会報 第 14 号（最新号：2025 年 1 月）
- ・花山天文台土日公開ちらし

お知らせ

2024 年度 (第 7 回) 日本天文遺産として、
花山天文台（本館、別館、子午線館）が認定されました。

<https://www.asj.or.jp/jp/activities/designation/>



2023-2024 年活動報告

花山天文台

ご寄附は、花山天文台の施設を維持管理し、見学会を担当する職員の雇用に活用しております。2023 年 5 月以降は、感染症対策の人数制限もなくなり、土日公開・星空観望会を順調に開催できました。団体利用含めた開催日数や参加者数を以下にまとめます。

2023 年(1 月から 12 月末まで) 950 名

土日公開(一部は土日以外にも実施) 75 日、762 名

星空観望会 13 日、188 名

2024 年(1 月から 12 月末まで) 1118 名

土日公開(一部は土日以外にも実施) 81 日、984 名

星空観望会 10 日、134 名

上記に加え、特別公開や京都市小学生の見学、京都大学関係者の見学など見学者の総数は、年間約 2000 人になります。

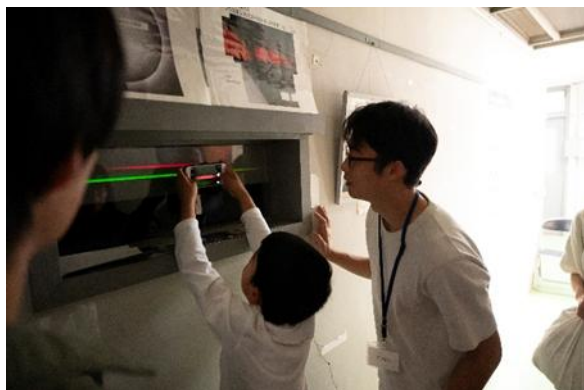
2023 年 9 月には、花山天文台応援・喜多郎音楽映像祭「10 周年記念 Kwasan Forever!」を開催しました。(当日に配布したパンフレットを同封しております)



本館図書室でのミニ講演



別館ザートリウス望遠鏡



太陽館でのスペクトル(虹)の観察



花山天文台応援・喜多郎野外コンサート

岡山天文台

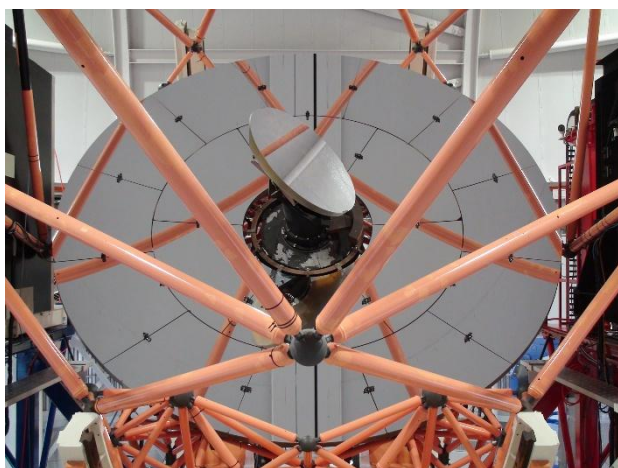
ご寄附は、鏡再蒸着や駆動装置故障など、数年に一度必要となる大規模補修のために積み立てております。

日本初：分割主鏡の位相合わせに成功

2024年6月下旬～7月の望遠鏡整備期間を利用して、せいめい望遠鏡の心臓部である分割主鏡の各鏡の段差を合わせる作業、すなわち反射光の位相を合わせる作業を実施しました。7月17日には調整後の望遠鏡で星を撮影し、各分割鏡の高さが光の波長程度の精度で揃っていることを確認しました。これは日本で初めて分割鏡全体を1枚の大きな鏡として機能させることに成功した事例となります。

<参考リンク>

https://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/general/facilities/okayama/result/release/20240809_phasing/

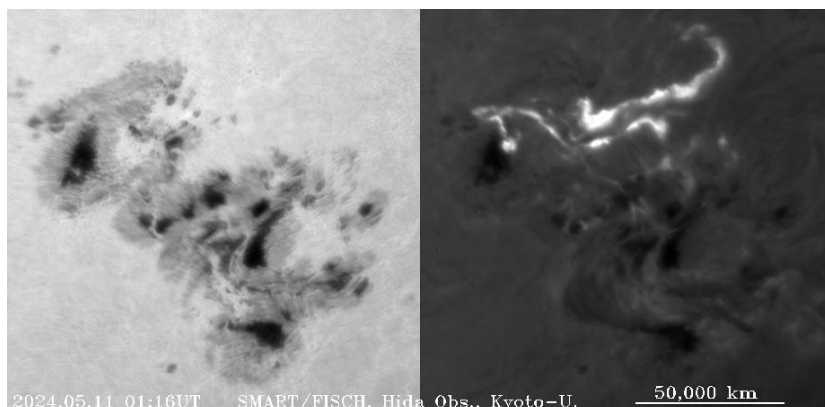


せいめい望遠鏡の分割主鏡

18枚の扇形の鏡で構成されています。分割鏡間を跨ぐように置かれている小さな黒い部品は段差を測定する光学センサの一部です。

飛騨天文台

ご寄附は、望遠鏡の改修のために積み立てております。
太陽活動が活発になり、たくさんのフレアや噴出現象が観測されています。



2024年5月11日の大フレア
飛騨天文台 SMART 望遠鏡
(FISCH)での観測結果。
白色光(左)でも増光が確認
できました。

<参考リンク>

<https://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/topics/kako.html>

